

新規高等学校卒業者の就職状況調査の結果について

貴団体におかれましては、新規高等学校卒業者の就職に関し、多大の御尽力を賜り、感謝申し上げます。

この度、「平成二十六年三月新規高等学校卒業者の就職状況調査」(平成二十六年三月末現在)の結果がまとまりましたので送付いたします。
今回の調査結果によると、就職率は前年同期を○・八ポイント上回る九十六・六%となり、四年続けて前年を上回る結果となりました。貴団体において、

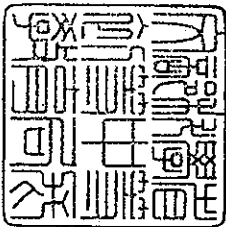
就職に関し御尽力いただいておりますことに御礼申し上げます。
一方、就職内定を得ずに卒業した生徒が約六千人おり、就職率は上がっているものの、未だ数多くの者が就職できるような努力が続いている状況となっております。また、男女別では、男子は九十七・五%、女子は九十五・一%となっております。改善が見られるものの女子の就職が依然として厳しい状況にあります。
就職は、生徒が将来に希望を抱き、職業生活に入ろうとする重要な第一歩であります。厳しい状況とは存じますが、貴団体におかれては、新規高等学校卒業予定者の求人枠の確保・拡大を図られますよう、格別の御配慮をお願い申し上げます。

採用選考に当たっては、求人秩序の確立を図り、併せて適正な推薦・選考が行われるとともに、女子生徒が男子生徒と実質的に均等な機会が与えられますよう、御配慮をお願いいたします。

なお、貴団体傘下の会員各企業にも、この旨御周知くださいますようお願い申し上げます。

平成二十六年五月十六日

文部科学省初等中等教育局長 前川 喜平



全国中小企業団体中央会 専務理事 殿

